新理事就任のご挨拶

長崎大学 原爆後障害医療研究所 組織修復学研究分野 教授

森 亮一

このたび、日本創傷治癒学会の理事を拝命いたしましたことを、 大変光栄に感じております。学会の発展に寄与する重要な役割を 担うことになり、その責任の重さを深く自覚しております。

私が創傷治癒研究に本格的に取り組むきっかけとなったのは、2003年にイタリアで開催されたゴードン会議において、貴志和生教授(慶應義塾大学)と雑賀司珠也教授(和歌山県立医科大学)のご講演を拝聴し、直接お話しさせていただいたことでした。その後、2004年に大学院を修了し、Paul Martin 教授(ブリストル大学、英国)のもとで皮膚瘢痕形成の分子メカニズム解明及び核酸医薬の開発に取り組み、研鑽を積みました。わずか 4年間の英国での生活でしたが、著明な研究者との出会いを通じて、創傷治癒研究の魅力とその社会的意義を深く学ぶことができました。現在もこのテーマを中心に研究を進めております。

日本創傷治癒学会は、臨床医学、基礎医学、看護学、薬学、企業の研究者など、様々な専門分野の先生方で構成されています。その多様な専門性を活かし、多くの学会員が学際的に知識を深め、研究力の向上に取り組んでいる姿を学会会場でよく拝見しています。このように異分野間での学術交流や情報共有を提供し続けていることも、日本創傷治癒学会の大きな魅力の一つであると感じております。

今後は、日本創傷治癒学会の伝統的な学術活動に加え、新たな価値や社会貢献のあり方についても模索していきたいと考えております。学会員の皆様と共に学会のさらなる発展に向けて努力してまいりますので、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



日本創傷治癒学会 2025.01 No.145

●日本創傷治癒学会事務局

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35 慶應義塾大学 医学部形成外科学教室内 tel.03-3351-4774 fax.03-3352-1054 e-mail:info@jswh.com

URL : https://www.jswh.com

No.145

■ 一般社団法人日本創傷治癒学会 令和7年度(2025年度) ■

2024年12月5日に東京・一橋講堂にて開催された令和7年度社員総会(評議員会)における決議にて、以下の通りの役員および新評議員10名(*印)が承認されました。

新体制の下に学会のさらなる発展のため邁進していく所存ですので、会員の皆様にはますますの ご支援・ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

理事(◆:理事長)(15名)

青 木 茂 久 貴 志 和 生 木 山 輝 郎 紺 家 千 津 子 佐 藤 道 夫 釜 淳 子 竹 内 裕 也 西 本 聡 松 﨑 恭 松 村 須 野 博 峰 松 健 夫 ◆吉 昌 田 則 仁 水 司 森 亮 田 和

監事 (2名)

館 正弘 宮澤光男

評議員 (77名)

瀬 智 野 公 牧 青 木 茂 久 赤 子 秋 田 定 伯 秋 造 荒 典 子 *伊 之 黒 幸 師 森 葉 井 龍 石 子 石澤美保子 瀬 久 子 *石 石 子 雅 石 \coprod 裕 猪 股 史 *岩 西 宏 樹 大 江 真 大 貝 和 裕 野 荻 晶 弘 大 島 秀 男 大 西 俊 介 畄 崎 悌 之 岡 部 圭 介 令 子 Ш 落 合 博 貝 子 城 龍 学 菅 野 美 小 谷 敏 金 恵 貴 志 和 生 北 Ш 雄 光 北 村 言 木 Щ 輝 郎 桐 木 京 子 光 田 益 士 *小 柳 和 夫 近 藤 稔 和 紺家千津子 雑 賀司珠也 井 貴 本 治 佐 藤 道 夫 佐 野 仁 史 酒 成 坂 道 美 *清 水 明 浩 淳 調 憲 菅 降 須 釜 子 住 岡 孝 吉 高 木 元 繑 潤 次 高 弘 弥 *髙 谷 健 人 竹 内 裕 也 竹 原 君 *高 田 江 中 里 佳 丹 野 寬 佐 肥 之 田 大 土佐眞美子 土 泰 祥 土 輝 仲 上豪二 朗 中 村 哲 也 *****並 Ш 努 西 本 聡 *野坂みず ほ 藤 井 美 樹 重 伯 壮 松 崹 恭 松 村 野 博 前 水 司 夫 亮 峰 松 健 向井加奈恵 森 守 永 圭 吾 森 本 尚 樹 根 拓 実 俊 吉 田 寬 \mathbb{H} 昌 兀 谷 淳 子 山 杠 介 吉 仁 *柳 舜 仁 和田則

(敬称略•五十音順)

No.145



漢方製剤にとって「良質」とは何か。その答えのひとつが「均質」である、とツムラは考えます。自然由来がゆえに、ひとつひとつに個性がある生薬。漢方製剤にとって、その成分のばらつきを抑え、一定に保つことが「良質」である。そう考える私たちは、栽培から製造にいたるすべてのプロセスで、自然由来の成分のばらつきを抑える技術を追求。これからもあるべき「ツムラ品質」を進化させ続けます。現代を生きる人々の健やかな毎日のために。自然と健康を科学する、漢方のツムラです。

良質。均質。ツムラ品質。



株式会社ツムラ https://www.tsumura.co.jp/ 資料請求・お問合せは、お客様相談窓口まで。 医療関係者の皆様 tel.0120-329-970 患者様・一般のお客様 tel.0120-329-930 受付時間 9:00~17:30(土・日・祝日は除く) 2021年4月制作 (審)